

おぢや市議会 だより

NO. 106

令和 4. 10. 25

編集発行
小千谷市議会

☎ 83-3505

OJIYA CITY ASSEMBLY

- 第3回定例会議決結果… P2
- 常任委員会報告…………… P3
- 一般質問…………… P5
- 議会日誌 …………… P10
- 雪あかり、編集後記 …… P10

—主な掲載内容—



投稿者：近藤美栄子さん

タイトル「おぢやの空に羽ばたけフェニックス！」

普段は滅多に通らない魚沼橋の対岸を走っていた時、山の頂上から大きな翼を広げて羽ばたこうとしている鳥のような雲が目飛び込んで来て、思わず撮りました。

第 3 回 定 例 会 議 決 結 果 (8月29日から9月21日まで開催)

議案番号等		議 件 名	議決状況	議決結果
条 例	議案第44号	小千谷市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	原案可決
	議案第45号	小千谷市議会議員及び小千谷市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
	議案第46号	小千谷市議会議員及び小千谷市長の選挙公報発行に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
	議案第47号	小千谷市ガス供給条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数	〃
予 算	議案第48号	令和4年度小千谷市一般会計補正予算(第5号)について	全会一致	〃
	議案第49号	令和4年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	〃	〃
	議案第50号	令和4年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	〃	〃
	議案第51号	令和4年度小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	〃	〃
	議案第52号	令和4年度小千谷市ガス事業会計補正予算(第1号)について	賛成多数	〃
	議案第53号	令和4年度小千谷市水道事業会計補正予算(第2号)について	全会一致	〃
決 算	議案第54号	令和4年度小千谷市工業用水道事業会計補正予算(第1号)について	〃	〃
	議案第55号	令和4年度小千谷市下水道事業会計補正予算(第1号)について	〃	〃
	議案第56号	令和3年度小千谷市一般会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	認 定
	議案第57号	令和3年度小千谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致	〃
	議案第58号	令和3年度小千谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃
	議案第59号	令和3年度小千谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	〃
	議案第60号	令和3年度小千谷市工業団地事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致	〃
	議案第61号	令和3年度小千谷市ガス事業会計の利益の処分及び決算認定について	〃	原案可決 認 定
	議案第62号	令和3年度小千谷市水道事業会計の欠損の処理及び決算認定について	〃	〃
	議案第63号	令和3年度小千谷市工業用水道事業会計の利益の処分及び決算認定について	〃	〃
	議案第64号	令和3年度小千谷市下水道事業会計の利益の処分及び決算認定について	〃	〃
そ の 他	議案第41号	専決処分について(小千谷市水道条例の一部を改正する条例)	〃	承 認
	議案第42号	専決処分について(令和4年度小千谷市一般会計補正予算(第4号))	〃	〃
	議案第43号	専決処分について(令和4年度小千谷市水道事業会計補正予算(第1号))	〃	〃
	議案第65号	小千谷市道路線の認定について	〃	原案可決
	議案第66号	小千谷市固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃	同 意
	議案第67号	契約の締結について	〃	原案可決
発 議	発議案第3号	コロナ禍においても私立高校生が学費の心配なく学校で学び続けられるよう、私学助成増額・拡充を求める意見書	〃	原案可決
請 願	請願第3号	「コロナ禍においても私立高校生が学費の心配なく学校で学び続けられるよう、私学助成増額・拡充を求める意見書」の採択を求める請願	みなし	採 択

※議決状況の「みなし」は、その請願に対応した同趣旨の意見書の発議案が提出され、先に採決したので、その議決結果をもって採択されたものとみなします。

議員賛否の状況 (採決において賛否が分かれたもの)

議案番号等	議決結果	賛成	反対	阿部守男	平澤智	上村行雄	駒井和彦	大矢弘光	佐藤栄作	森本恵理子	住安康一	内山博志	佐藤隆一	吉崎進	久保田陽一	長谷川有理	田中淳	山賀一雄	本田剛	
議案第47号	原案可決	13	2	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	—
議案第52号	原案可決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第56号	認定	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第59号	認定	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—

※○は賛成、×は反対、議長（本田剛）は採決に加わりません。



常任委員会報告

総務文教委員会

委員長 森本恵理子

本委員会に付託されました議案14件につきまして、慎重に審査した結果、原案のとおり可決及び認定すべきものと決しました。また請願1件は採択すべきものと決しました。

委員会での主な意見・討論

○議案第47号 小千谷市ガス供給条例の一部を改正する条例の制定について

本案は液化天然ガスの価格高騰を受け、本年3月より仕入値が条例に定められた上限金額を超えているため、それを撤廃するというものです。

主たる討論として

- ・上限撤廃をしないと赤字が続くことになり、ガス会計以外の行政サービスにも影響を及ぼすと考えるため、賛成。
- ・公営企業として運営しているため、現状の支援策がない中においては値上がりにつながると考える

ため、反対。
というものがありません。

○議案第52号 令和4年度小千谷市ガス事業会計補正予算(第一号)について

本案は天然ガス購入費増額に伴う補正となります。

主たる意見として

- ・市民に十分な説明、周知をしていただきたい。

○議案第56号 令和3年度小千谷市一般会計歳入歳出決算認定について

主たる意見として

- ・全般について、若者の意見を取り上げながら、成果に関しても共有化に取り組んでいただきたい。

- ・民生委員・児童委員の委託費について、町内で活動費を負担している状況を調査し、負担が必要であればしっかりと支給していくべき。

- ・小千谷産品のPRについて、実績をよく把握し、評価をしながら次の事業に取り組む姿勢を打ち出せるように研究を重ねていただきたい。

主たる討論として

- ・施策の中には評価すべき点もある

りませんが、不十分な点もあると考
えます。財政調整基金を暮らしを
支える財源として活用すべきと考
え、反対。
というものがありません。

民生産業委員会

委員長 吉崎 進

本委員会に付託されました議案
8件について、慎重に審議した結
果、議案8件は可決及び認定すべ
きものと決しました。

○議案第49号 令和4年度小千谷
市国民健康保険特別会計補正予算
(第1号)について

本案は既定の歳入歳出予算の総
額に歳入歳出それぞれ2014万
5千円を追加し、歳入歳出予算の
総額を歳入歳出それぞれ30億
9532万円とするものです。

○議案第50号 令和4年度小千谷
市介護保険特別会計補正予算(第
1号)について

本案は既定の歳入歳出予算の
総額に歳入歳出それぞれ1億
8196万7千円を追加し、歳入
歳出予算の総額をそれぞれ41億

94万4千円とするものです。

○議案第51号 令和4年度小千谷
市後期高齢者医療特別会計補正予
算(第1号)について

本案は既定の歳入歳出予算の総
額に歳入歳出それぞれ831万円
を追加し、歳入歳出予算の総額を
それぞれ8億3661万7千円と
するものです。

○議案第57号 令和3年度小千谷
市国民健康保険特別会計歳入歳出
決算認定について

本案は令和3年度小千谷市国民
健康保険特別会計の歳入歳出を認
定するものです。

○議案第58号 令和3年度小千谷
市介護保険特別会計歳入歳出決算
認定について

本案は令和3年度小千谷市介護
保険特別会計の歳入歳出を認定す
るものです。

○議案第59号 令和3年度小千谷
市後期高齢者医療特別会計歳入歳
出決算認定について

本案は令和3年度小千谷市後期
高齢者医療特別会計の歳入歳出を
認定するものです。

○議案第60号 令和3年度小千谷
市工業団地事業特別会計歳入歳出

決算認定について

本案は令和3年度小千谷市工業
団地事業特別会計の歳入歳出を認
定するものです。

○議案第65号 小千谷市道路線の
認定について

本案は民間業者が桜町地内に造
成した宅地内の道路を市道に認定
するものです。

表紙画像をInstagramで募集
しています。
「#だいすきなおぢや」を付けて
大好きな小千谷の風景を投稿して
下さい。

市議会だよりをアプリで配信中

スマートフォンやタブレット
端末で使える無料アプリ「マ
チイロ」で配信中です。最新
号を発行日に自動でお届けし
ます。ぜひご利用ください。

Android用



iPhone用



森本 恵理子 議員



低出生体重児支援について

質問 特に小さく生まれた赤ちゃんは出生後もすぐに入院が必要となります。せめて正期産で生まれる赤ちゃんと同等の経済的負担で済むよう支援策を講ずるべきでは。
答弁 今後の国の動向を踏まえ、検討してまいります。

時代に即した子どもたちの支援について

質問 朝食をとらずに学校に来る子どもについて、家庭の問題とせず、子育て支援策として官民一体となった行政支援の必要性を感じていますが見解を伺います。
答弁 朝食をとらない子どもは微増しています。原因分析をすると共に、朝食をとる生活習慣を身につけるよう呼びかけていきます。

質問 ギガパソコンの導入でランドセルの重量化が見られます。意識的に軽量化を図り、通学時の安全等に配慮すべきでは。

教育長答弁

置き勉を推奨してはいますが、学校の状況を確認しながら軽量化に取り組んでまいります。

中学校の校則について

質問 校則の見直しについて3回目の質問です。市内各中学校で見直しの動きがありますが見直しは。
教育長答弁 実際に見直している学校は4校あり、自主的に改善、運用する動きも見られます。

質問 ジェンダー平等実現を目指す世界情勢にありますが、制服や頭髪等男女別のきまりがある現在の校則について見解を伺います。
教育長答弁 直ちに校則から男女の括りをなくすことは難しい現状にあります。世の中の意識の高まりの中で徐々に性差をなくしていけるものと考えます。

質問 これからの時代を生きる子どもたちに校則はどうあるべきか、一度既存の枠を取り外し、ゼロベースで考える必要もあるのでは。
教育長答弁 子どもたちが主体的・自主的に考え、保護者や先生方の考えも参考にするとともに、それぞれの学校の主体性を重んじながら取り組んでほしいと考えられています。

長谷川 有理 議員



新型コロナウイルス感染症について

質問 市長自身の感染経験も踏まえ、本市の感染症対策をどう考えるか。
答弁 本市の役割はワクチン接種と感染予防に関する啓発が主だ。

質問 医療・福祉従事者はじめ消防・保健師・教職員・水道局職員含む公務員や清掃作業員など小千谷市のエッセンシャルワーカーの業務継続支援を行うべき。次の第8波が来てはただ「気をつけてくれ」だけでは現場はもたない。
答弁 ワクチン接種順位を配慮している。BCP（事業継続計画）の見直しで同種事業所間の連携などご検討いただき、事業継続の実効性を高めていただきたい。

質問 第7波は子どもの感染が中心で現在の子育て世代は共働き世帯が多く感染拡大を防ぎ社会への影響をどう小さくするか、早期発見、早期隔離・治療が大切。県と連携し自動PCR検査機の導入補助などの施策の充実を図るべき。
答弁 厚労省から通知がない。新潟県は感染症診察・検査医療機関検査機器整備事業はないが他県はある。各市町村を守ってくれと県に要望をすべきでは。

質問 県が事業を導入したら、市内の医療機関に活用を促したい。
答弁 感染症禍における本市の孤独・孤立の問題への具体的対策は。本年3月に「ひきこもり実態把握調査」を行った。今後、結果をもとに指針作成、見守り体制強化、居場所づくり等充実させる。
大塚市政2期8年間について
質問 最大課題人口減少について
答弁 社会減の抑制を自負しているが新型感染症拡大で道半ばの事業もある。社会減対策が重要。
質問 市民協働支援センター未設置や地域包括支援センター設置数1か所等の状況は心残りでは。
答弁 市民協働では中間支援組織となる想定が活動中止となり担い手がいない現状だが市民協働は中間支援組織設立がゴールでない。本市の地域包括支援センターは1か所で問題はない。

市政の内容を聞く

一般

質問

住安 康一 議員



質問 マイ・タイムラインの普及・

啓発と継続的な活用をどのように推進するのか。作成をどのように後押しするのか。また、自主防災組織で作る地域のタイムラインの推進についてはどうか。

答弁 近年は大雨による災害が頻

発しており、自分たちの命は自分たちで守るために、タイムラインの普及と啓発は重要と考える。氾濫の危険がある区域には、タイムラインの必要性を周知するため、そなえ館や専門知識を持つ方々と連携しながら、個別に自主防災組織や学校に働きかけ、更なる普及と啓発を継続的に行いたい。

質問 タイムライン普及へ、リー

ダー養成をどのように進めるのか。**答弁** 人材を育成することは、地域の防災力の向上に役立つと考える。防災士の育成を進めるため、そなえ館を通じて市内高校生を対象に、防災士資格取得補助事業を

始めた。今後は、企業に対して防災資格取得を呼びかけるなど事業内容を再検討し、育成に努める。

質問 豪雨や台風時の増水する河

川や水路、橋等に近づかなくてもその情報がわかるための環境整備が重要だ。河川の水位情報や監視カメラ情報の提供と周知についての現状と課題について伺う。さらに、河川水位計や監視カメラの必要箇所への増設についての見解は。

答弁 水位計や監視カメラからの

情報は、市民の避難行動への判断材料となることから、アクセス方法を市民に周知する。また、水位計や監視カメラの増設の必要性が高いと思われる場所がある場合は、県に設置を要望していく。

質問 介護保険を利用しての福祉

用具の購入や住宅改修などの際、償還払いに加えて利用者の経済的負担軽減と安心のために、受領委任払い（代理受領）を導入すべき。

答弁 利用者にとっては一時的な

経済的負担が軽減されるメリットはあるが、業者が登録事業者に限定されるデメリットもある。実施している自治体の状況を情報収集し、確認したうえで対応する。

内山 博志 議員



CO2削減と市のゴミ問題

質問 昨年制定の「プラスチック

資源循環促進法」によって、焼却中心からゴミ処理は減量、資源化優先に転換が図られた。市のゴミ行政の今後は。時水のゴミ焼却能力に対して多いときで約55%だが今後の利用については。

答弁 現在埋め立てゴミとしてい

るものの一部品目を資源化する方向で検討している。市民、事業者から協力してもらい、施設処理量を減少させていきたい。

省エネ、再エネの普及促進を

質問 再エネ利用のモニタリング

を行い、情報発信し、普及促進を。**答弁** 片貝総合センターの太陽光発電などの公表。当市の脱炭素設備導入促進補助金の活用者から協力してもらい公表していく。

低所得者への猛暑対策支援に

質問 猛暑は災害という状況。生

活保護世帯や低所得世帯への冷房対策は命を守る意味がある。聞き取りでは冷房が不要というが、真意は費用負担の問題ではないか。冷房器具設置、光熱費支援が必要。**答弁** 生保受給者の冷房器具未設置は21世帯。ケースワーカーの助言で適切に利用してもらっている

と認識している。設置は、生活費のやりくり、生活福祉資金で対応してほしい。

国保税の均等割世帯割の軽減について
質問 人頭税ともいわれる所得のない人にも課税する均等割、世帯割の軽減を。
答弁 保険給付費、基金の状況等を見て検討したい。

ガス事業民営化について
質問 民間は利益優先になる。ガス事業が民営化されたら水道、下水道、工業水道などコストの増加が見込まれるが対応は。市内の管工事業者組合などへの対応は。
答弁 答申書の「影響を最小限に努める」との意見を踏まえ業務の見直しが必要。不安払拭に努め、募集要項に反映させるため、委員会を組織し慎重に検討する。

山賀 一雄 議員



地域スポーツの振興について

質問 計画期間を10年とするスポーツ推進計画では、計画期間が長過ぎ、時代の変化に対応するには難しい。国等の計画と整合を図るべきと考えるが、見解を伺う。

教育長答弁 中間年になることから見直しをする予定であり、スポーツ基本計画を参酌し、総合計画との整合を図り策定の予定である。

質問 基本理念である「する、みる、ささえる」を推進する上で施設整備は重要である。施設の改修等整備計画はどのように考えているのか伺う。

教育長答弁 国のガイドラインに則った個別施設計画は、令和3年度に策定済みであり、大規模改修は策定済みの計画に基づき、計画的に実施する。

質問 総合型地域スポーツクラブは、全国的には運営体制の強化、行政との連携が課題となっている

が、当市のスポーツクラブをどのように理解しているのか伺う。

教育長答弁 「こいこいスポーツクラブ」は、市民の健康増進のために事業推進や指導者の充実に努力していると理解している。

質問 各競技団体は、指導者の確保・育成を必要としているが、資格取得を義務付ける方向にある。

行政として支援策を講じることも考えられるが、見解はどうか伺う。

教育長答弁 資格取得に向けた議論が進んでいることは承知している。資格取得後の更新のための研修会の参加義務付け、費用負担等もあるため、資格取得制度の情報を見直しながら、指導者の確保・育成に取り組む。

質問 中学校部活動移行に関わる財政支援等の通知、情報は入手されているのか、また、受け皿などを検討するとしていたが、検討協議会を立ち上げたのか伺う。

教育長答弁 スポーツ庁や県教育委員会から具体策は提示されていないので、国や県の財政支援の在り方等を注視していく。また、検討協議会は年内には立ち上げる予定である。

大矢 弘光 議員



電気自動車の普及(EVシフト)について

質問 公共施設での充電器や災害時に有効な充放電器の設置の考えは。また個人住宅への充電器設置について市独自の補助拡大を検討すべきと考える。

答弁 2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指すためには電気自動車の普及が必要だが、公共施設に於いて市が充電事業を行うことは馴染まないと考えられる。令和3年6月に国・地方脱炭素実現会議が決定した地域脱炭素ロードマップを参考にしながら、今後

も施策について検討していく。

質問 ガソリン自動車関連の市内製造業の業種転換支援の考えは。また農機具や土木・除雪用重機向けなど、今後のガソリンや軽油、暖房用灯油の安定供給について、供給業者への公的支援などを含め、どのような研究を進めているか。

も施策について検討していく。

答弁 国はカーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略を発表し、エンジン部品供給者が電動車向け部品製造等の新分野に挑戦する際、技術開発や設備投資、人材の確保・活用・育成を後押しすること、また自動車への燃料供給を担ってきたガソリンスタンドについては電動車や燃料電池自動車へのエネルギー供給や合成燃料の供給も担う、

地域の人流・物流・サービスの拠点またはEVステーション化するなど経営多角化等の事業再構築を後押しするとともに、国の「事業再構築補助金」に、グリーン成長戦略の課題解決を行う事業者を支援する「グリーン成長枠」を新設。さらにもものづくり補助金に温室効果ガスの排出削減に資する革新的な製品・サービスの開発や炭素生産性向上を伴う生産プロセス提供方法の改善等を行う事業者を支援する「グリーン枠」が新設されており、国は通常より優遇し支援している。当市も国の制度を経営改善よろず相談窓口などの相談機会を通じて、業態・業種転換や新分野への展開、経営基盤の再構築に對する支援に努めていく。

市政の内容を聞く

一般質問

市政の内容を聞く

一般質問

久保田陽一 議員



アピアランスケアについて

質問 アピアランスケアの担当課はどこか。市民からの相談の有無。

答弁 幅広い年齢層の健康に関する事業の位置づけから、健康未来こども課が担当。これまで市民からの相談はない。

質問 アピアランスケア用品（医療用ウィッグ・乳房補整具）購入費補助が必要と強く思うが見解は。

答弁 市内において支援を必要とする方の実態やニーズ把握に努める必要がある。保健師の定期的な訪問の機会の活用や、医療機関からの協力を得ながら、実態やニーズ把握に努めていく。

中学校部活動の地域移行について

質問 市中学校部活動連盟で部活動地域移行について協議がなされているのか。教員へのアンケートや聞き取り等状況把握は。

教育長答弁 小千谷市部活動地域移行検討協議会を通じてアンケート

トや聞き取りなど、実務を担う教員の考え方や状況等を把握していきたい。

質問 小千谷市部活動地域移行検討協議会で既に協議、検討はなされたのか。また、文科系部活動の関連団体もこの協議会に含まれるのか。

教育長答弁 これまで準備会を立ち上げ、国や県からの情報を説明するとともに、協議会のメンバー構成などについて協議した。今後、年内に正式に検討協議会を立ち上げる予定。また、その検討協議会に文科系部活動団体からも参加いただく予定。

質問 単独でチームを組めない現状を鑑み、各種団体や関係者とともにチームスポーツのあり方や合同チームに向けて協議、検討を進めるべきでは。

教育長答弁 県中学校体育連盟が12月を目的に示すガイドラインを注視しながら、生徒が希望する活動が行えるよう、協会や関係者とも必要な協議、検討を行いたい。

質問 中体連全国大会は必要か。

教育長答弁 答える立場ではない。中体連改革も必要では。

阿部 守男 議員



質問 小千谷市職員の長期療養について。

答弁 長期療養の人数は令和3年度については9名である。病気回復後のケアについては、医師の診断書を基に対応している。

質問 図書館等複合施設整備事業に於ける冷暖房設備工事について。

答弁 図書館等複合施設の冷暖房設備については、再生エネルギー活用を念頭に置いており、電気設備が有利であると判断。ガス設備よりも電気設備の維持管理費が15年間で差額が約1400万円である。電気料金は年間約450万円を想定している。

質問 ガス事業民営化は決定事項なのか、決まったならいつ誰が決めたのか。

答弁 ガス事業の民営化については、「小千谷市ガス事業のあり方」で検討する為、「小千谷市ガス事業のあり方検討委員会」に令和2

年7月に諮問、令和3年3月、「小千谷市ガス事業は早期に民営化することが望ましい」との答申をえた。さらにガス水道局で検討を重ね民間事業者の有償譲渡することを基本的な方針とした。民営化が決定したものではない。市議会の議決をもって決定。

質問 民営化前提の報告書と見て取れるが、否という意見を聞くことはなかったのか。

答弁 ガス事業民営化検討資料作成等業務報告書により否ということについては報告書の趣旨にあてはまらないと考える。

質問 発注済み公共工事の物価スライドの考え方について

答弁 特別な要因により主要な工事材料の価格に著しい変動が生じ、請負金額が不適当となったときは、協議により請負金額を変更する。

質問 小千谷市立中学校におけるフッ化物洗口について。

教育長答弁 学校保健会小千谷支部評議員会で審議し、審議結果を受けて8月の定例教育委員会において今後歯科医師会との協議をしていくこととする。

駒井 和彦 議員



地方鉄道存続・こども家庭庁創設
対応・今後の市政等について

質問 JR 飯山線存続について。

答弁 駅にはまちづくり拠点としての役割もあり、上越線・飯山線と共に、沿線住民の生活路線であると同時に、地域経済の発展に重要な役割を果たすと認識する。飯山線存続については、飯山線沿線地域活性化協議会も含め、利用者が増加する様な方策の検討を、飯山線沿線地域や関係機関等と連携し対応する。

質問 小千谷駅外側トイレの開放に係る協議について

答弁 申し入れを行っただけで、その後協議はしていない。現状、JR・当市に苦情はきていない。

質問 こども家庭庁創設に伴う、当市の対応について。

答弁 設置の目的は、目的や内容が類似の施策一元化と、省庁間の連携強化により、成果の向上と推

進体制の効率化を目指すものであり、当市において、国と同様の視点に立って、組織の見直しを検討する必要がある。職員数については、組織の変更に合わせて見直す事となる事務分掌に基づき、各事務事業を効率的に遂行出来る様、検討する。

質問 こども家庭庁への職員の派遣について。

答弁 現状、国から示されている、こども家庭庁への派遣については、直ちに職員を派遣する状況にない。

質問 政治参画に向けた、中学生との対話について。

教育長答弁 中学校では生徒会選挙、小学校における社会科、中学校での公民分野の学習で、政治の大切さを学ぶ。当市を考える活動を行い、それを提案する学校もある。今般開催される「小千谷みらい議会」なども通して、社会に目を向け、政治への意識の醸成が図られる事を願う。

質問 今後の市政について（高齢者へのデジタル支援）。

答弁 スマホ教室、スマホ体験会を実施している。公民館事業・高齢者学級等で、継続支援していく。

本会議をインターネット中継しています

市議会ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。
本会議当日のライブ中継のほか、本会議終了後概ね1週間後には、録画映像も配信しています。
市政への一般質問で各議員の顔写真の下に二次元コードを掲載しています。スマートフォンやタブレット端末で読み取ると、各議員の一般質問の録画中継をご覧いただけます。
また、会議録も市議会ホームページで閲覧できます。
(令和4年第3回定例会の会議録掲載は、11月末頃となります。)

URL <https://www.city.ojiya.niigata.jp/site/gikai/>

市議会を傍聴してみませんか

第4回定例会開催予定

11月30日(水)	第1日	議案上程説明
12月2日(金)~12月6日(火)		各常任委員会で審査
12月19日(月)	第2日	一般質問
12月20日(火)	予備日	一般質問 (質問者が多い場合に開催)
12月22日(木)	最終日	委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局 (Tel83-3505) へお問い合わせください。
委員会の傍聴については、あらかじめ議会事務局へお申し出ください。

〈7月〉

5日 広聴広報委員会
12日 群馬県館林市議会行政視察
に来市

13日 広聴広報委員会

柏崎港整備・利用促進協
会通常総会（柏崎市）

15日 議会改革推進委員会

議員協議会

議会運営委員会

〈8月〉

5日 民生産業委員協議会

議員協議会

17日 議会改革推進委員会

議会運営委員会

29日 第3回定例会（本会議）

広聴広報委員会

30日 常任委員会連合審査会

31日 常任委員会連合審査会

〈9月〉

1日 総務文教委員会

2日 民生産業委員会

13日 議会改革推進委員会

15日 議会運営委員会

16日 本会議（第2日）

本会議（第3日）

21日 広聴広報委員会

議会運営委員会

28日 本会議（第4日）
議会改革推進委員会



樽井 俊郎（元中子）

ああ、東のパン屋さんの2階のマッサージ屋ね！

はい、いいえ、はりきゅう治療院です。

そんなふうには皆さまに知って頂き8年目、ひとつひとつの縁のおかげで続いております。

治療の方法は、手や道具だけでなく聴くこと、話すこと、感じることに、感じてもらうこと。

中東の紛争地域に暮らす方々への施術、アフリカのホスピスでのボランティア、キルギス共和国でオリンピック代表選手との合宿、つきっきりのトレー

ナー活動。昨年の東京オリパラ選手村で医療スタッフ鍼担当としての経験。さまざまな過程の延長に今があります。日々の患者さまへの施術に試行錯誤を繰り返していること、難しさと向き合っていることがいちばん貴重だと思っています。

僕にとって海外のオリンピック選手も地元のスポート選手も主婦も高齢者も○屋さんも○員さんも○家さんも、身体の診方や施術の方法はいっしょで、心と体の健やかさ、ケガが治りやすい、症状が回復しやすい身体内外の環境をつくっていくお手伝いをすることをめざしています。

このことをずっと続けていけている縁の連鎖に感謝です。そしてティアラの皆さん、小千谷の皆さん、元結会の皆さん（笛のご指導）ありがとうございます。これからも宜しくお願います。これからの皆様へお願います。



編集後記

今市議会が、大塚市長との最後の市議会となりました。

大塚市政2期8年、この間、情勢は全国的にも少子高齢化、人口減少は加速し、当市の人口は遂に3万4千人を割りました。

そして特筆すべきは、市長在職2期目後半、現在も続くコロナ禍、非常に厳しい情勢の中での市政運営だったと察しています。

しかし、今後の市政運営も、如何にその人口減少の速度を緩め、持続可能なまちづくりを進めるかだと思っています。

私は毎回の様に一般質問に登壇し、市長には質問と言うよりも、様々な提案をしてきた様に思います。「市政運営はそんなに甘くないんだよ」と、毎回言われていた様な気がしていますが、今はそんな答弁も懐かしく感じています。

何の因果か、今市議会の一般質問の最終登壇者、そして大塚市長最後の市議会日より、その最後の編集後記を、こうして私が書いています。大変光栄に思います。

市政発展を願う心は一緒、今後

もご指導・ご鞭撻をお願いします。
編集委員会 座長 駒井和彦